



日本共産党 水戸市議会議員

田中マサキ



消費税増税!? 憲法改悪!? 水戸市は悪政からの防波堤に

ブレない日本共産党をのばしてください

1800 億円

東海第2

原発の再稼働やめ 今すぐ廃炉

1800億円もかける再稼働対策費、それはすべて電気料金にはねかえります。過酷事故が起きれば、住民避難は不可能。農業や観光に甚大な被害を及ぼします。

「再稼働認めない」意見書採択

日本共産党は、東海第2原発の危険性を貫して追及。水戸市議会は「再稼働を認めない意見書」を議員17人の賛成で可決しました。市長も、市民の安全第一の立場できっぱりと反対すべきです。

事前了解権が拡大

日本原電との新たな安全協定により、水戸市にも再稼働の「実質的事前了解」の権限が拡大され、責任はさらに大きくなりました。



「共産以外の反対なし」

▼「水戸市民会館計画 足元に不安」

との見出しで、市が一部の建物床に賃借料を支払う方針を決めたために、市の支出が増額の恐れ。「共産以外の議員から市の案への反対意見は出なかった」と報じられました。

(朝日新聞1月25日付)

事業費320億円、3700人収容、再開発事業で建設する新市民会館計画。立地もコストも規模も、問題だらけです。

水戸市議会が
住民投票を否決



●住民投票を求める署名
1万5千人の請求に日本共産党は賛成しましたが、市議会は反対多数で否決してしまいました。

320 億円

市民会館

計画は 一から見直し

切実なねがい

- 国保税・介護保険料引き下げ
- 子ども医療費・給食費無料化
- 高齢者の交通手段確保
- 保育所・開放学級の待機ゼロ
- 生活道路の整備・雨水対策

消費税10%で 1億6千万円 上下水道値上げ

▼市は上下水道料金に増税分を上乗せする方針です▼日本共産党は「飲料水や生活水に消費税を転嫁すべきでない」と求めています。

76 億円

ためこみ金

くらし優先 市民のために

高すぎる国保税や介護保険料、子育てや教育の負担が重いことも、税金の使い方が問題。水戸市の「ためこみ金」(財政調整基金)は76億円(2017年度末)。

7年度末)。国保会計も7億8千万円の赤字です。ムダづかいをやめて、市民のためこみ金を活用すれば、市民の願いをもっと実現することができます。

安倍政権が、消費税増税や原発再稼働を強引にすすめる、市民に負担と不安を押しつけています。だからこそ水戸市政が、国のひどい悪政の「防波堤」となって、市民の暮らしを守ることがどうしても必要です。

民報みと 2019年2月号外

日本共産党の政策を紹介します。
発行 日本共産党水戸市委員会
連絡先 水戸市上水戸2-6-21
電話 221-7441 FAX221-7849

田中マサキ
ホームページ

